A1倶楽部

2018.1 新春号

[発行所]
さとう栄一
後援会総連合会
〒321－0954
栃木県宇都宮市元今泉5-1-22
TEL.028-662-3300
FAX.028-662-5501

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

夢のある未来都市へのまちづくり

新年、明けましておめでとうございます。皆様には、日頃より何かとご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は、宇都宮をホームタウンとするプロスポーツの活躍が目覚ましく、たくさんの夢と感動を私たちに与えてくださいました。リンク栃木ブレックスはBリーグの初代王者に輝き、市長特別賞を受賞されました。宇都宮ブリッツェンの雨澤選手は地元開催のアジア最高峰自転車ロードレース「ジャパンカップ」でチーム初の3位に入賞、更には小坂選手が「全日本シクロクロス選手権大会」で優勝しました。そして、最終戦までもつれましたが、栃木ＳＣが悲願のＪ２復帰を果たしました。また、市政では住みよさランキングで５年連続の１位と高い評価をいただきました。

全国的に少子・超高齢社会を迎え、人口の減少が避けられない中、首都圏とつながる交通利便性や立地企業の多さ、豊かな財源に伴う各種施策の展開などが後押しし、今年1月には、52万４００人まで人口が増加しました。しかし、本市でも２０５０年には約45万人になることが想定されますことから、これからも様々な分野で高い評価をいただけるように、課題に的確に取り組んでまいります。ＬＲＴの早期着工と２０２２年開業に向けて駅東側のバス路線を再編し、総合的な公共交通ネットワークの実現を目指します。また、女性の安定した雇用を支援し、待機児童ゼロを目指す子育て・教育環境の充実、更には、大谷地区の資源を最大限に活かすとともに、新発想による最適な整備を促進して魅力ある地域振興を図ってまいりますので、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆様におかれましては大きな飛躍の年になりますよう、心から祈念申し上げます。

宇都宮市長　佐藤栄一

A1 倶楽部

佐藤市長が目指す未来都市へのまちづくり

実力

佐藤市長の確かな実績と高い評価

財政健全度
全国 第３位
※東洋経済新報社
都市データパック 2017 年版

共働き子育てしやすい街 2017
全国 第１位
第１位　杉並区（同率）
第３位　福岡市

住みよさ度
5年連続 全国 第１位
安心度・利便度・快適度
富裕度・住居水準充実度

3×3・2017を誘致

3人制バスケットボールの国際大会「3×3ワールドツアーうつのみやマスターズ」が2年連続で二荒山神社前のバンバ市民広場で開催され、世界各国の選手を一目見ようと市民らが駆け付けた。佐藤市長は会場で「宇都宮の繁栄と共に歩んだ二荒山神社前のコートで素晴らしい戦いを繰り広げていただきたい」とあいさつした。大会終了後には「今後も誘致を続けたい」と語った。経済効果は4億6000万円。

農産物を沖縄へトップセールス

佐藤市長は沖縄への農産物販路拡大に向けトップセールスを行った。一昨年から沖縄県の一部の洋菓子店やリゾートホテルで取扱いが始まった「大谷夏いちご」の評判を知り、オキナワ・マリオットリゾート＆スパから「具体的な説明を聞きたい」とお話をいただきトップセールスを行い、その後取引が始まった。高級リゾート地のホテルで本市の「大谷夏いちご」が提供されることは農産物のブランド力向上や農業の活性化につながる。

内閣府主催のシンポジウムで施策を紹介

昨年の3月23日に内閣府主催の「地方分権改革シンポジウム」が都内で開催され、講演やパネルディスカッションが行われた。佐藤市長は宇都宮市の取り組みとして、地域づくりや子育て、経済活性化など市の独自施策を紹介した。

パネルディスカッションで佐藤市長は「地域創生のポイントは地域資源の有効活用と、東京一極集中の是正」と強調した。

LRT2022年開業へ　バスは再編150本増

LRT事業の整備スケジュールについて、2018年3月に着工し、2022年3月頃の開業を目指す。延長15kmの全線新設のLRT整備は全国初で、工期は4年程度を見込んでいるが、スケジュールは前後することもある。LRTの開業に合わせて駅東側のバス路線の再編案をまとめた。1日当たりの運行数を現状より150本増やす方針で、効率的な公共交通ネットワークを構築する。

宇都宮LRT導入イメージ

オリオン通りにオープンカフェを本格実施

平成28年10月に社会実験を実施したオリオン通りでのオープンカフェは、利用者や参加店舗から好評を得られたことから、平成29年4月より、宇都宮まちづくり推進機構を事業主体とし、地元商店街などの協力を得ながら、本格実施した。これにより、中心市街地での人の交流や憩いの場の提供を通して、新たなにぎわいの創出や回遊性の向上を図っていく。

女性雇用創出企業に支援制度

佐藤市長は「新年度から女性の雇用を創出するため、オフィス系企業を対象とした立地支援制度を新設する」と発表した。対象は市内に新たに進出し事務職を雇用する営業所・支店などで、雇用した企業に対する金銭的補助や法人市民税などの税制優遇、家賃補助などの支援策で、首都圏などにある企業の本社機能誘致を促進し、若年層の女性を中心とした雇用の受け皿と活躍の場を広げる。

起業で愉快だ宇都宮
UTSUNOMIYA

魅力

うつのみやの大谷を世界が注目する観光拠点に!!

大谷地区が熱い、観光客増加

宇都宮市の北西部に位置する大谷地区が今にぎわいを魅せている。宇都宮が誇る、石の里には魅力がたくさんある。大谷のシンボルである高さ27mの平和観音に、大谷石の岩壁を望む緑の公園・大谷景観公園、地下に広がる採掘場跡の大谷資料館など、一足伸ばせば道の駅ろまんちっく村や宇都宮動物園、日帰りハイキングコースの古賀志山、そして4月には城山西小のしだれ桜「孝子桜」、9月にはジャフェスタin大谷、10月にはジャパンカップサイクルロードレースが開催される。

資料館では様々なイベントを開催

大谷石採掘場の跡地が資料館として現在一般公開されているが、1943年頃は、陸軍の地下秘密倉庫として使用されていた。その後、平均気温が8度前後のため保管庫として利用され、1979年に資料館としてオープンした。巨大な地下空間に一歩足を踏み入れると幻想的で、コンサートや地底美術館などの開催、ミュージックビデオや映画・ドラマの撮影に使われることも多い。昨年は「Cool Japan Award 2017」を受賞し海外からも注目が集まっている。

大谷スマートIC

宇都宮市が2020年中の開設を目指している大谷スマートIC。佐藤市長は「中心市街地や大谷地域へ直接アクセスでき、集客効果が見込める。地域振興や交通円滑化の追い風にもなる」と、期待を寄せた。

大谷夏いちご

大谷の地域活性化策の一つとして、大谷の土地柄を生かし一年中いちごが出荷できる「大谷いちご」の生産企業2社の代表が佐藤市長を表敬訪問した。佐藤市長は赤く熟した大粒のいちごを試食し「歯ごたえがあっておいしい。見事な出来」と絶賛した。

経済効果28億円のジャパンカップ

昨年もアジア最高位の自転車ロードレース「2017ジャパンカップサイクルロードレース」が開催された。前日には宇都宮市の大通りで周回レース「クリテリウム」が行われ、世界的な英雄アルベルト・コンタドール選手の引退試合でもあったため、雨の中にもかかわらず4万8千人の観客が熱狂した。佐藤市長からコンタドール選手に花束が贈られ「引退レースに宇都宮を選んでいただきありがとう」と感謝の言葉を述べた。結果はNIPPOのマルコ・カノラ選手が大会史上初となるクリテリウムとロードレースの連続優勝を成し遂げた。経済効果は28億円。

佐藤市長のさまざまな活動

LRT情報発信拠点が開設

8月29日にLRTの情報発信拠点として「交通未来都市うつのみやオープンスクエア」がベルモール1階のフードコート隣に開設した。初めての常設型でVR装置などが体験できる。また、オープニングセレモニーでは佐藤市長がテープカットをし、「市民の皆様にご理解を深めてもらうチャンスになる」と語った。

市長とランチでトーク

8月25日に「佐藤市長とランチでトーク高校生編」が開かれ、ランチを囲みながら穏やかに懇談した。高校生たちは「仙台では有名なジャズフェスティバルが開催されている。宇都宮でも全国的に知られるフェスティバルが育つといい」などと提案。佐藤市長は一つ一つ丁寧に現状や考え方ついて答えた。

映画「キスできる餃子」ロケ地に応援

佐藤市長は8月30日に餃子のまち宇都宮を舞台にした映画「キスできる餃子」の製作を応援しようと、大谷資料館などの撮影現場を訪問した。佐藤市長は「撮影は大変だと思うが、市もできる限りの協力をしていくので日本一の映画にしたい」と監督らを激励した。

佐藤市長はスポーツで未来都市を目指します

リンク栃木ブレックスが昨シーズン、Bリーグの初代王者に輝いた。佐藤市長は決勝の激戦を会場で観戦し「代々木の体育館はすごかったですね」とシーソーゲームの白熱と赤（川崎）より黄色（栃木）の声援が勝っていたと話した。その後の優勝報告会で佐藤市長は市長特別賞を贈り「日本一おめでとう。選手と日本一のファンの皆さんのおかげ」と語った。

栃木SCがJ2に復帰することが確定した。12月3日に最終戦が行われ、優勝は秋田に譲ったものの2位に踏みとどまった。佐藤市長は「昨季の悔しさをバネに集中必翔のスローガンの下、最後までよく戦い抜いた。引き続きホームタウン宇都宮に夢や感動を与えていただけることを期待します」と語った。

ジャパンカップサイクルロードレースで3位入賞を果たした宇都宮ブリッツェンの雨澤選手が佐藤市長を表敬訪問し、チームで初めて表彰台に上がったことを報告した。佐藤市長は「感動のゴールだった。次回は優勝を」と語った。シクロクロスでは日本人の頂点を決める「全日本シクロクロス選手権大会」で小坂光選手が初優勝を果たした。

活動報告

- 5/13 A1clubゴルフコンペ
- 6/9 A1 club 総会
- 10/28 さとう栄一後援会総連合会ゴルフコンペ
- 11/18 さとう栄一市長を囲む女性の集い

11月18日に今回で13回目となるさとう栄一市長を囲む女性の集いを開催した。384名の方々にご参加をいただき、佐藤市長は宇都宮のまちづくりについて熱く語った。

6月9日に開催したA1club総会では、皆様から「LRTの早期着工を」などの意見があり、佐藤市長は「宇都宮の発展のために頑張ります」と話した。

[発行所] さとう栄一 後援会総連合会
〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉5-1-22 TEL.028-662-3300 FAX.028-662-5501